

ふくおかボイス

「好き」になるまち ふくおかし

福岡市が「好き」と答えた人は

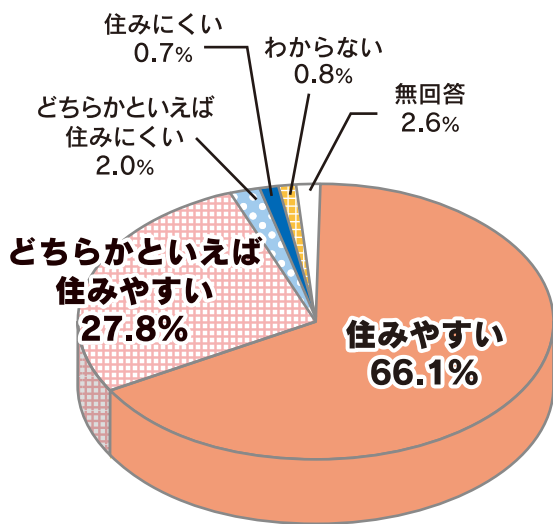
95.2%

平成24年度 市政に関する意識調査 の結果がまとまりました!

「福岡市の住みやすさ」「福岡市の環境」について調査しました。

『住みやすい』と答えた人は

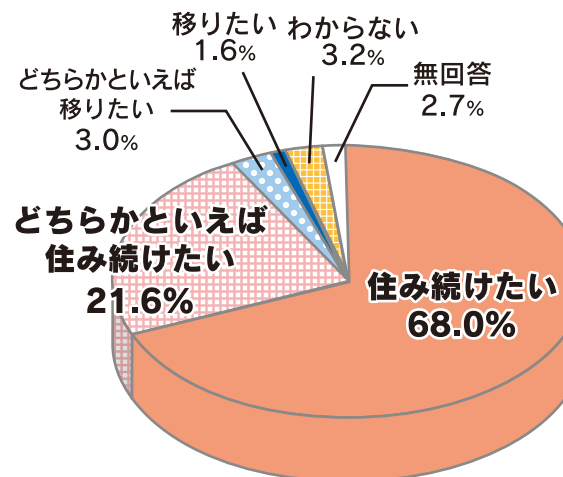
93.9%!



全体 (N=2,352)

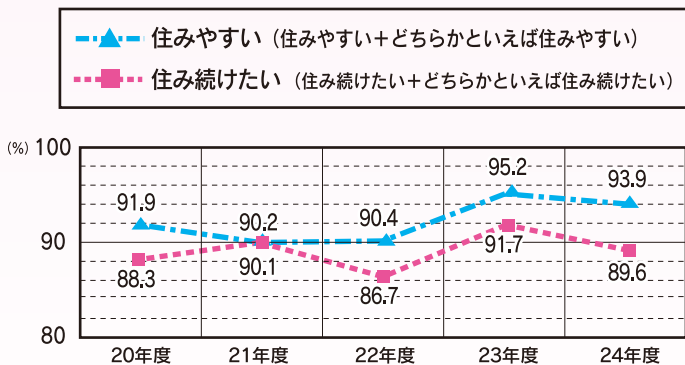
『住み続けたい』と答えた人は

89.6%!



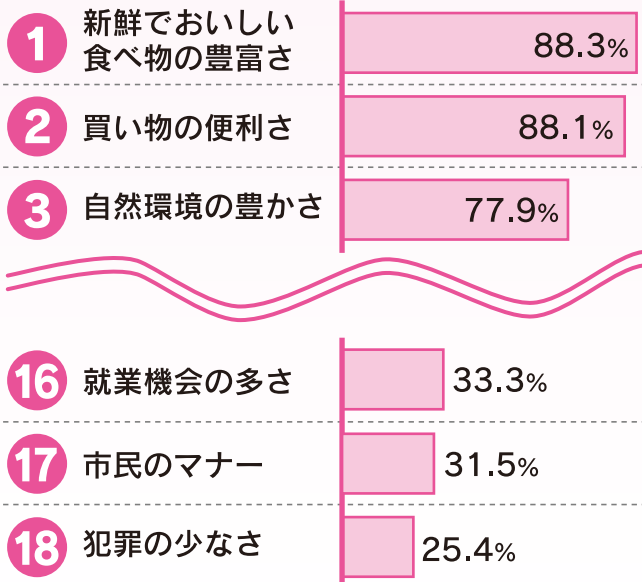
全体 (N=2,352)

住みやすい、住み続けたい (過去5年間)



●『住みやすい』『住み続けたい』の割合は昨年度と比較するとやや下がっていますが、依然として高い数値となっています。

都市環境の満足度



全体 (N=2,352)

福岡市の環境について

～一般的なことについて～

環境に配慮する行動の、実施状況と今後の意向

日ごろ、実行していること

実行している (いつも実行している+たまに実行している)

今後、実行したいこと

実行したい (実行したい+どちらかといえば実行したい)

97.8%	ごみの分別や出し方のルールを守っている	94.4%
97.3%	近所の迷惑にならないように騒音に気をつけている	94.0%
96.8%	使用していない照明や電気製品を消すなど、節電に気をつけている	94.0%
96.5%	水を出しっぱなしにしないなど、節水に気をつけている	94.1%
93.8%	台所で、食用油や食べ残しを排水口から流さないようにしている	93.2%
89.7%	皿洗いや洗濯の時に、洗剤を使いすぎないようにしている	92.2%
89.3%	物を無駄にしないことを心がけて、できるだけごみを出さないようにしている	92.9%
82.4%	エアコンの設定温度は、冷房28℃以上、暖房は20℃以下に設定している	87.7%
82.2%	買い物のとき、マイバッグを持参するなどして、レジ袋を断っている	88.5%
82.2%	同じものであれば、近くでとれた農産品を買う	88.6%
81.8%	古紙等は、リサイクルステーションや地域集団回収へ持って行くようにしている	88.9%
79.1%	外出の際には、なるべく自動車を使わず、徒歩や自転車、電車などの公共交通機関を利用している	85.2%
71.2%	自動車を使用するときは、不要なアイドリングや空ふかし、急発進などをしないようにしている	77.5%
56.2%	エコマーク・グリーンマークなどのついた、環境に優しい製品を購入するよう心がけている	82.4%
41.5%	屋上や壁面、ベランダの緑化に取り組んでいる	68.8%

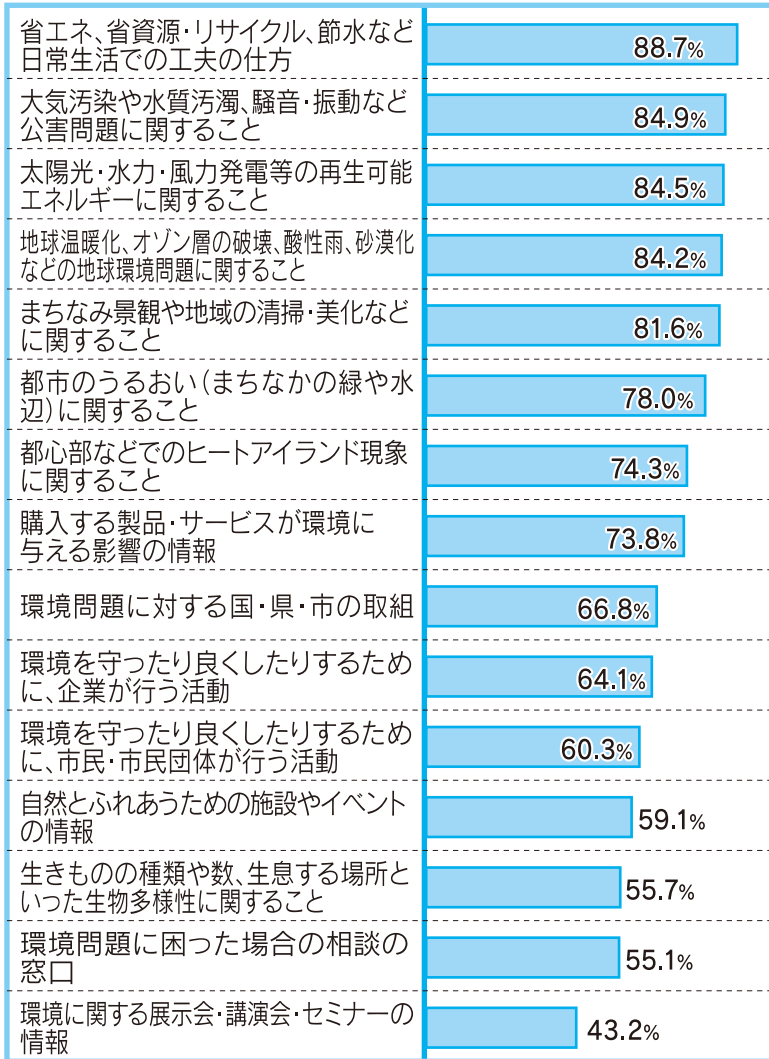
全体 (N=2,352)

- 「ごみの分別や出し方のルールを守っている」の実行度が最も高く、97.8%の人が実行しています。
- 上位4項目は、日ごろ実行している人の割合が9割後半を占めており、環境に配慮する行動として、市民の間で定着していることがわかります。

- 日ごろ実行している人の割合が低い「エコマーク・グリーンマークなどのついた環境に優しい製品を購入するよう心がけている」「屋上や壁面、ベランダの緑化に取り組んでいる」でも、今後の実行意向は比較的高くなっています。

環境問題の情報で**関心があるもの**

関心がある（関心がある+どちらかといえば関心がある）



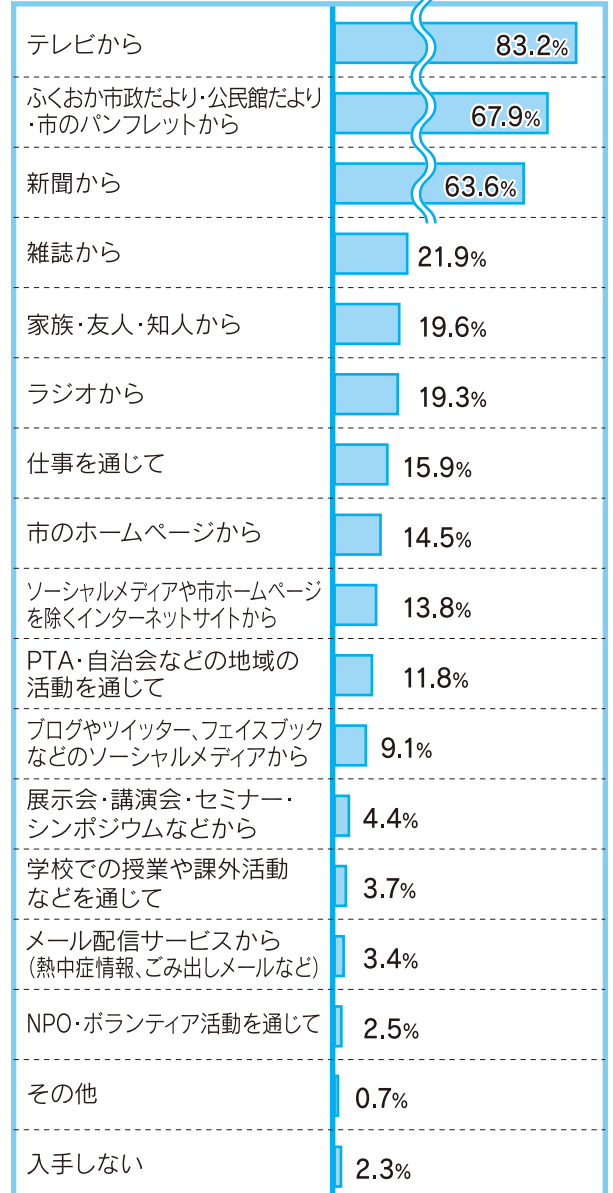
全体 (N=2,352)

- 環境問題についての情報で関心があるものは「日常生活での工夫の仕方」が約9割、「公害問題に関すること」、「再生可能エネルギーに関すること」、「地球環境問題に関すること」がそれぞれ8割台半ばとなっており、多くの人の関心を集めています。

福岡市の
環境シンボルキャラクター
【エコッパ】



環境問題に関する情報の**入手方法**



全体 (N=2,352) 複数選択

- 環境問題に関する情報の入手方法は「テレビから」が8割強、「ふくおか市政だより・公民館だより・市のパンフレットから」と「新聞から」がそれぞれ6割台となっています。

- 福岡市環境局HPでは、ごみ出しの方法や環境学習施設、市民団体の紹介、各種調査結果の掲載等、福岡市の環境に関する様々な情報を提供しています。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/>

HP検索 福岡市 環境局

- 環境に関する様々なテーマについて、市の職員が訪問する出前講座も実施しています。どうぞご利用ください。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/demae/>

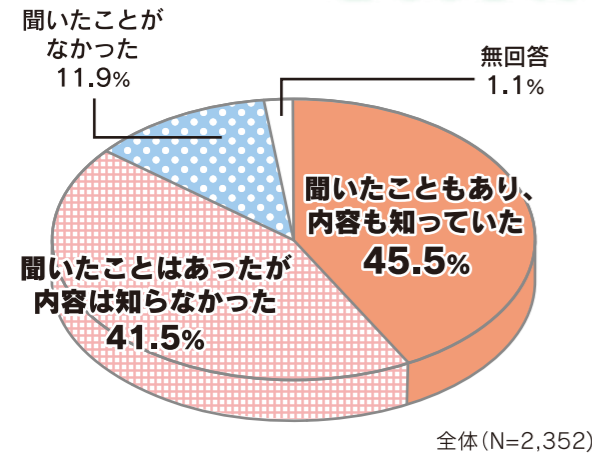
HP検索 福岡市 出前講座

- 防災メールで黄砂情報およびPM2.5予測情報を配信しています。
entry@fukuoka-city.jpに空メールを送信すれば登録できます。

～再生可能エネルギーについて～

「再生可能エネルギー」という言葉の認知度

『聞いたことがある』と答えた人は **87.0%**



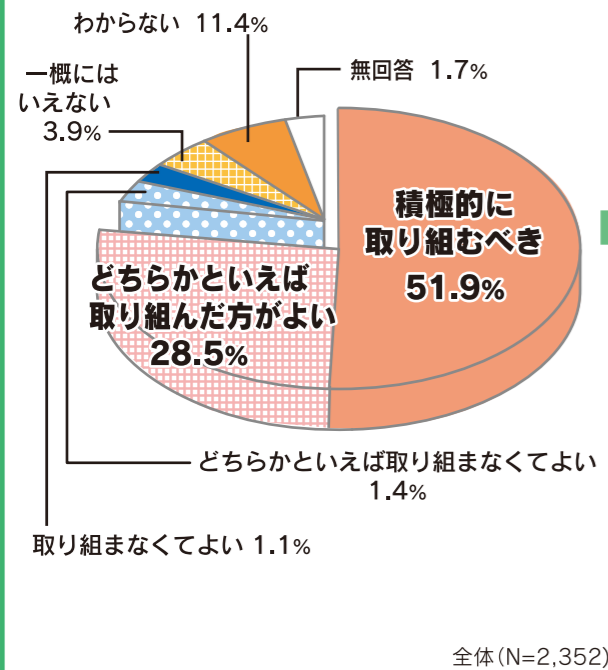
- 「再生可能エネルギー」という言葉を聞いたことがある人は9割弱となっています。
- 「再生可能エネルギー」の内容まで知っている人は4割強となっています。

～再生可能エネルギーとは～

太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など、資源が枯渇せず繰り返し使え、発電時や熱利用時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しないエネルギーです。

再生可能エネルギー等の導入の福岡市の今後の取組について

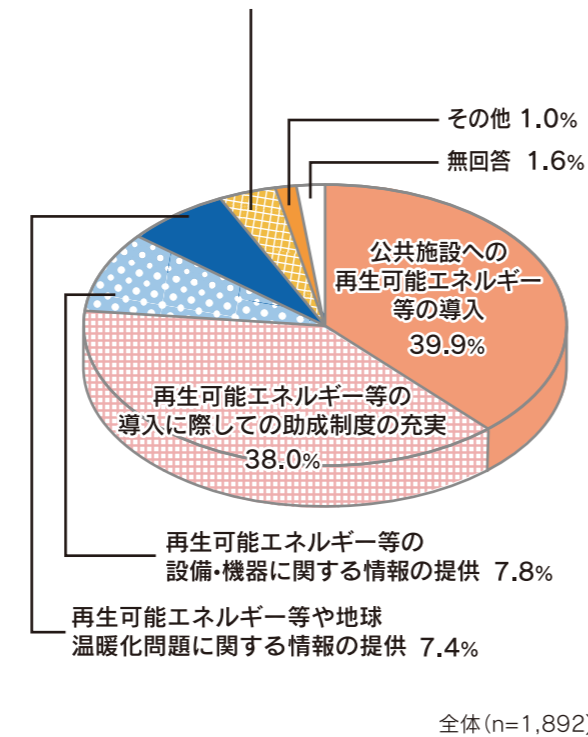
『取り組んだ方がよい』と答えた人は **80.4%**



- 再生可能エネルギー等の今後の導入の取組については、「積極的に取り組むべき」+「どちらかといえば取り組んだ方がよい」の合計が8割を超えています。

再生可能エネルギー等の導入について福岡市が特に力を入れていくべき施策

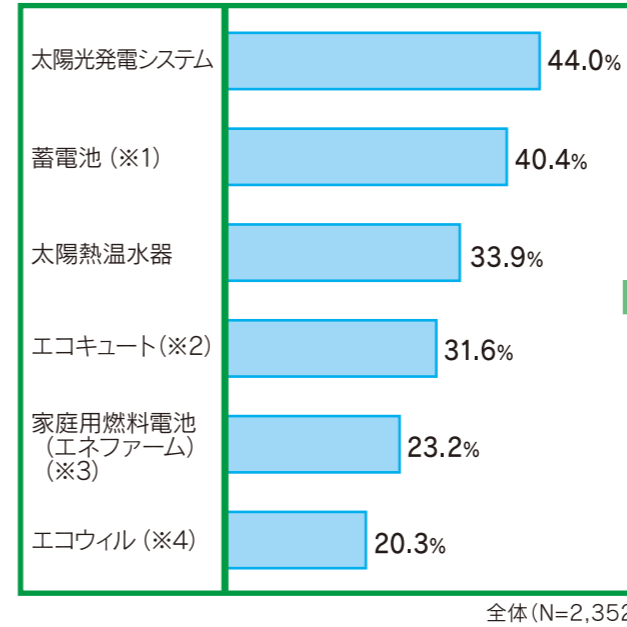
再生可能エネルギー等の導入に関するイベントなど市民の活動の場づくり 4.4%



- 特に力を入れていくべき施策は、「公共施設への再生可能エネルギー等の導入」が最も高く、次いで「再生可能エネルギー等の導入に際しての助成制度の充実」となっています。

家庭で今後『導入(継続)したい』再生可能エネルギー等の機器

導入(継続)したい[導入(継続)したい+どちらかといえば導入(継続)したい]



(※1)蓄電池
電気を蓄えておき、必要なときに使うことができる機器

(※2)エコキュート
空気の熱を利用した給湯器

(※3)家庭用燃料電池(エネファーム)
ガスから水素を取り出して発電、排熱を給湯などに利用する機器

(※4)エコウィル
ガスを燃焼して発電、排熱を給湯などに利用する機器

- 「太陽光発電システム」を導入(継続)したいと回答した人が4割強となっています。

福岡市の主な再生可能エネルギー導入の取組(平成24年度)

【メガソーラー発電事業】

市有地である西部(中田)埋立場の遊休地(約1ha)に、大規模太陽光発電のメガソーラー(1MW)を設置しています。

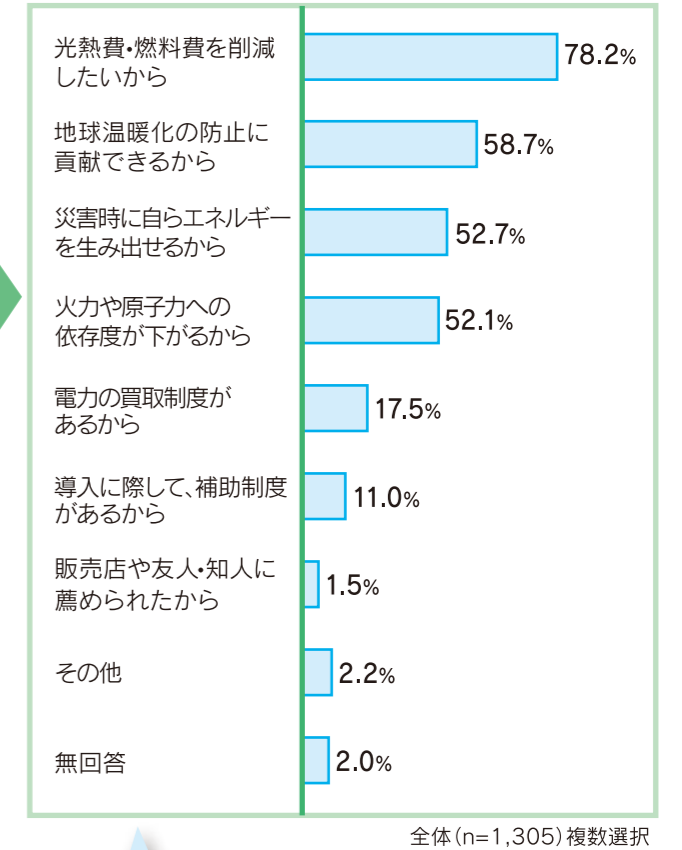


【平成24年度福岡市住宅用新エネルギー設備等設置補助】

住宅用太陽光発電システム、もしくは家庭用燃料電池を設置する際に、1件あたり10万円の補助を行います。

再生可能エネルギー等の機器を導入したい理由

※1つでも『導入(継続)したい』と回答した方に聞きました。



～再生可能エネルギーの固定価格買取制度～

再生可能エネルギー源(太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス)を用いて発電された電気を、一定の期間・価格で電気事業者が買い取ることを義務付ける制度で、平成24年7月1日からスタートしています。

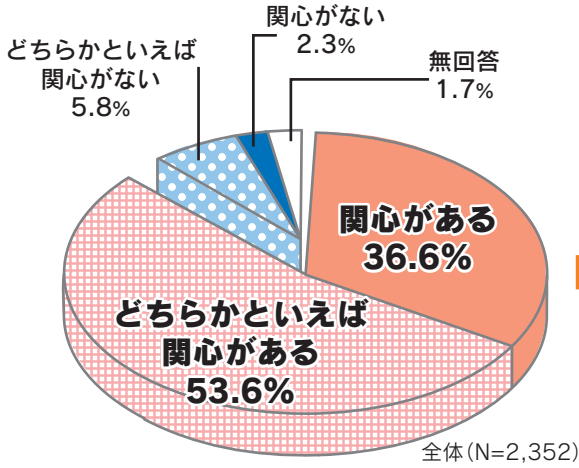
- 再生可能エネルギー等の機器を導入(継続)したい理由としては、「光熱費・燃料費を削減したいから」と回答した人が約8割となっています。
- 「地球温暖化の防止に貢献できるから」、「災害時に自らエネルギーを生み出せるから」、「火力や原子力への依存度が下がるから」と回答した人はそれぞれ5割台となっています。

【問合せ先】
環境局エネルギー政策課
TEL:092-711-4926 FAX:092-733-5592
Eメール:energy.EB@city.fukuoka.lg.jp

～ごみ・リサイクルへの意識、取組について～

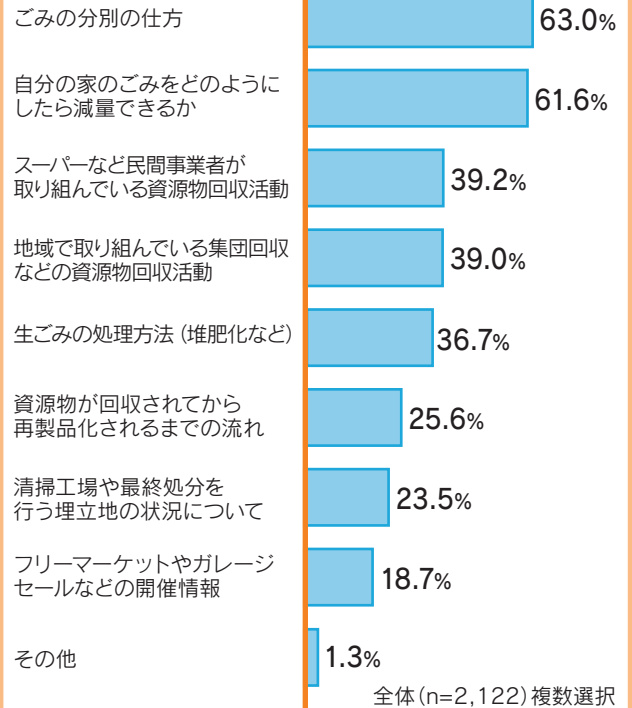
ごみ減量・リサイクル(3R)への関心度

『関心がある』と答えた人は **90.2%**



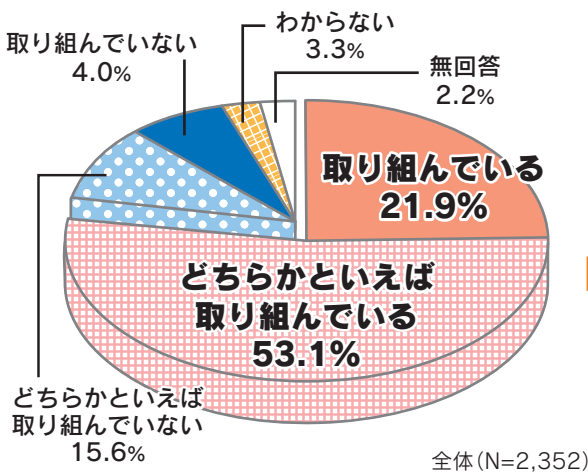
●ごみ減量・リサイクルに関心がある人は約9割となっています。

関心があること



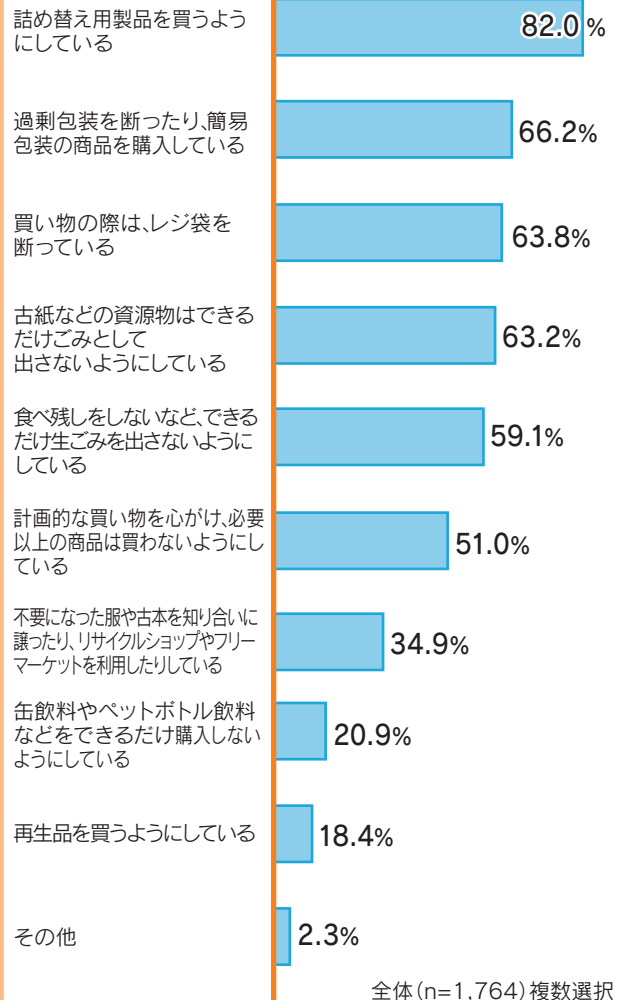
ごみ減量・リサイクル(3R)の取組状況

『取り組んでいる』と答えた人は **75.0%**



●ごみ減量・リサイクルに取り組んでいる人は、7割強となっています。

取り組んでいること

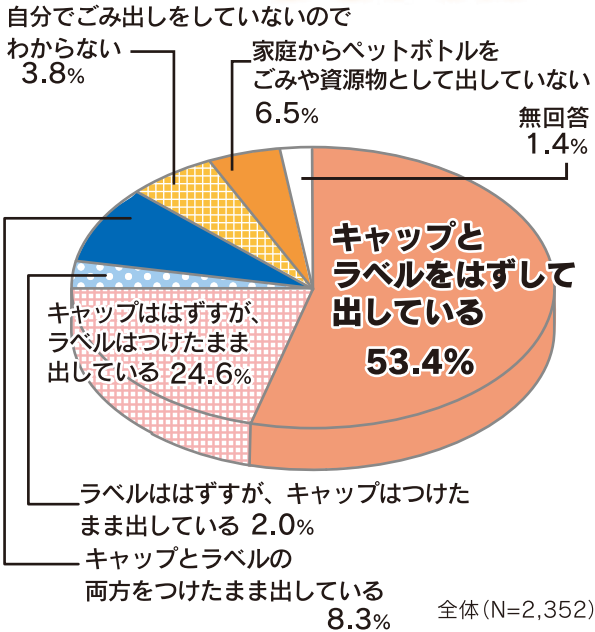


～3R(スリーアール)とは？～

①ごみを減らす取組「リデュース (Reduce)」、②繰り返し使う取組「リユース (Reuse)」、③再生利用する取組「リサイクル (Recycle)」の3つの取組の総称。リデュース → リユース → リサイクルの順番で取り組むことが重要です。

家庭での使用済みペットボトルの出し方

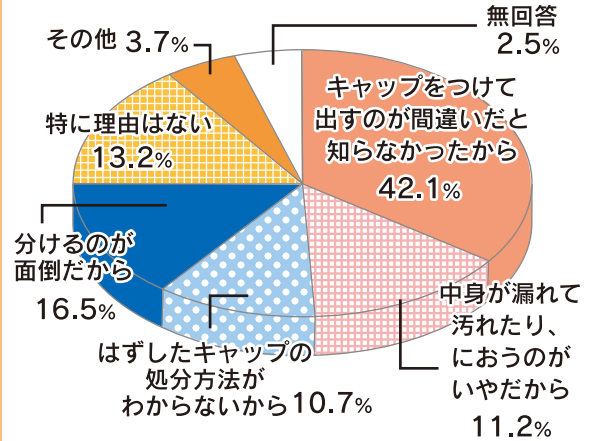
正しい出し方をしている人は **53.4%**



●家庭で使用済みペットボトルを「キャップとラベルをはずして出している」人(正しい出し方をしている人)が割強となっています。

キャップをつけたまま出さないで!

キャップをつけたまま出すのはなぜですか?



キャップをつけて出すとリサイクルに支障をきたす恐れがあります。
ペットボトルの正しい出し方はこちら!

全体(n=242)

ペットボトルの正しい出し方

① キャップとラベルをはずす
(はずしたキャップとラベルは「燃えるごみ」へ)



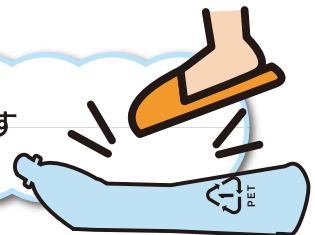
② 中を軽くすすぐ
(ため水で結構です)



ごみ減量シンボルマーク
【かーちゃん】



③ 横に平たくつぶす



④ 「空きびん・ペットボトル用」指定袋に入れて出す



※キャップがついていたり汚れていたりするとリサイクルがうまくできないんだ!

【問合せ先】

環境局資源循環推進課

TEL:092-711-4039 FAX:092-733-5592

Eメール:shigenjuncan.EB@city.fukuoka.lg.jp

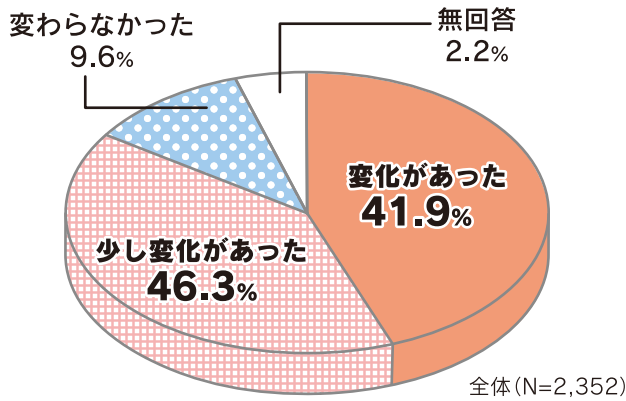
環境局循環型社会計画課

TEL:092-711-4308 FAX:092-733-5592

Eメール:keikaku.EB@city.fukuoka.lg.jp

～東日本大震災後の意識や行動の変化について～

東日本大震災後、環境に関する行動に変化はありましたか

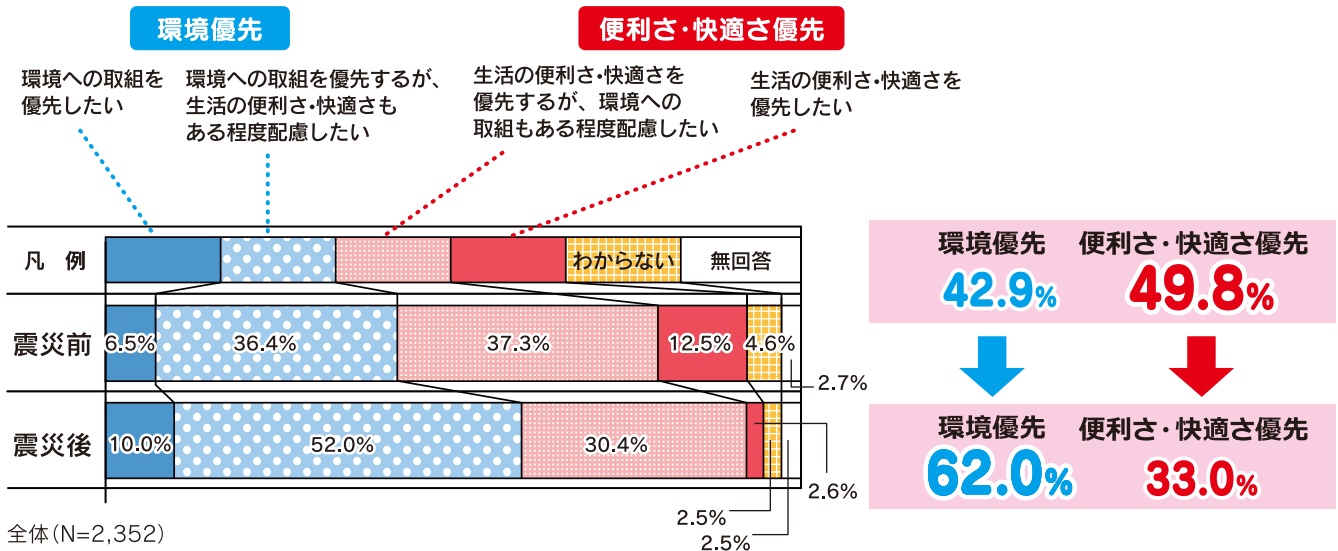


『変化があった』と答えた人は

88.2%

●東日本大震災後、環境に関する行動に変化があったと回答した人が約9割を占めています。

環境への取組と生活の便利さ・快適さのバランスについて<東日本大震災前後>



環境優先 42.9% 生活の便利さ・快適さを優先するが、環境への取組もある程度配慮したい 49.8%



環境優先 62.0% 生活の便利さ・快適さを優先するが、環境への取組もある程度配慮したい 33.0%

●「環境への取組を優先したい」+「環境への取組を優先するが、生活の便利さ・快適さもある程度配慮したい」の割合が東日本大震災前は42.9%であったのに対し、東日本大震災後は62.0%と約20ポイント高くなっています。

平成24年度 市政に関する意識調査

福岡市では、市政に関する市民の皆さんのご意見や評価を科学的・統計的に把握し、市政推進上の基礎資料とするため、昭和51年度より「市政に関する意識調査」を実施しています。

詳細については、報告書を福岡市ホームページに掲載していますのでご参照ください。

[HP検索](#) [福岡市](#) [意識調査](#)

- ◇調査地域 ----- 福岡市全域
- ◇調査対象者 ----- 福岡市内に居住する満20歳以上の男女
- ◇調査対象者数 ----- 4,500サンプル
- ◇抽出方法 ----- 住民基本台帳による二段階無作為抽出法
- ◇調査方法 ----- 郵送法
- ◇調査期間 ----- 平成24年8月17日(金)～8月31日(金)
- ◇回収数(率) ----- 2,352サンプル 回収率52.3%

※回答は、回答者数を基数とした百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
 ※複数選択ができる設問では、回答率が100%を超えることがあります。
 ※数表、図表、文中に示すN、nは、比率算出上の基数(標本数)です。
 N=標本全数 n=該当数(その質問を回答しなくてよい人を除いた数)

平成25年3月発行

《編集・発行/調査主体》福岡市市長室広聴課 〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1

TEL:092-711-4067 FAX:092-733-5580 Eメール:kocho.MO@city.fukuoka.lg.jp